

第7回 表面振動を利用した表面分析法 (IR,Raman)

2015年3月18日(水)

講演概要

赤外分光法、ラマン分光法に代表される振動分光法は、物質・分子の同定・解析には必要不可欠な手法である。しかし、これらの振動分光法は、表面・界面の分析という立場から考えると、必ずしも表面敏感な手法ではない。そのため、表面あるいは吸着種を選択的に分析する様々の手法が考えだされている。

この講義では、振動分光法の基礎から先端分野まで平易に解説する。表面振動分光法を理解しておくことは日常の研究・開発・分析業務重要であろう。